

SUJATA (スジャータ)

『ENJOY』をお読みの皆さん、はじめまして、SUJATA (スジャータ) です! 私達は、ニューヨークに在住する、医療・ヘルスケアに携わる学生グループです。今日は是非皆さんに私達のストーリーをシェアさせてください!

SUJATAはニューヨークを拠点に活動する、医療・ヘルスケアに携わる、JAMSNET (邦人医療支援ネットワーク) に所属する学生グループです。今回、『ENJOY』への寄稿を機に、今年発足したばかりのグループの活動のリフレクションとして皆様にSUJATAの紹介をさせていただきたいと思えます。

スジャータとは?

SUJATAはニューヨーク市在住の、ヘルスケア・医療関係に興味・関心を持つ学生によるグループです。メンバーはそれぞれ、医療、公衆衛生、看護、ソーシャルワーク、心理学、アートセラピーなどなど、幅広い分野を専攻しています。SUJATAへの参加条件は、JAMSNETのミッションおよび活動に関心をもっていただける方であること、日本語の会話・読み書きができること、この二つの条件を満たせばどんな学生の方でも参加していただけます。活動目的は大きく4つあり、1) 学生とプロフェッショナルのネットワークを広げる機会の提供、2) 日本人コミュニティへの貢献、3) 専門分野を超えたリソースの共有、そして4) 学生同士のピアサポート、メンタリング、交流の場を作ることです。

スジャータが生まれるまで

2012年の秋に、JAMSNETの理事の方から日本人の医療関係に基づく学生会を作るということが提案されました。NYで熱心に公衆衛生、臨床心理学を学んでいた大学院生2人にまずは話が行き、2人は早速団体作りに挑戦し始めました。

雪の積もった二月のある日に、私たち二人はミッドタウンのカフェで学生会のミッション、ビジョンを考える作業に入りました。ミーティングを重ねた結果、いつか世界中にヘルスケアの分野で活動する同志の学生ネットワークをつくらう、という夢を持った団体が誕生しました。「スジャータ」という言葉は70年代のコーヒーミルクを宣伝するCMに使われていましたが、実は仏教の話に由来したものなのです。釈迦が悟りを得る直前に乳粥を供養し命を救ったという娘の名前がスジャータだと言われています。この逸話にならって、ニューヨークに住む日本人や日系人の皆さん、特に学生の皆さんの支えになれるような団体でありたいと願って、スジャータと名づけました。

発足当時は2人でしたが、現在15人のメンバーが参加し医療関連団体JAMSNETの一員として活動しています。メンバーはそれぞれが専門性を活かした能力やアイデアを持っていて、とても魅力的です。これからもメンバーを拡大していき、日本



人コミュニティへの活動を深めて行きたいと思えます。また、ブログや社会人の方との交流会などを通してアメリカでの就職活動を考えていらっしゃる方のお役にも立てればと考えています。

スジャータの主な活動

JAMSNETの活動(春のサクラヘルスフェア、秋のシニアウィーク、JAPAN DAYなどの共催)に参加することで、NYの非営利団体の運営について学ぶ機会をたくさん得ています。また、市内で行なわれる日本関係のイベントの報告や紹介をしたり、ブログで活動情報を発信しています。今年9月からはSUJATAにとって最初のプロジェクトである、JAMSNET加盟団体訪問企画を開始しました。この企画は、ニューヨークで活動している日系、または日本人スタッフの方が働く医療福祉関連団体をSUJATAメンバーが訪問し、インタビューを通して各団体の概要や活動について学び、団体ブログのJAMSNET団体訪問コーナーにて紹介していくというものです。今後の予定としては、毎年春に行なわれる日系人会主催のサクラヘルスフェアへの参加も企画しています。また、毎月第3金曜日には、メンバーだけでなくいろいろな分野で活躍されている学生の皆さんとの交流を楽しむハッピーアワーを開催しています。

長期的には学生の意見や提案をJAMSNETの活動に取り入れ、海外の日本人コミュニティへ貢献することも視野に入れています。スジャータに興味のある方は、ご連絡をいただければ幸いです。

ブログ: <http://sujatajamsnet.wordpress.com/>

E-Mail: sujatajamsnet@gmail.com



JAMSNET (ジャムズネット) ホームページ
<http://jamsnet.org/index.php>